

ボランティア通信 2018.11 Vol. 223



なかま

発行 交野市ボランティアグループ連絡会
(交野市ボランティアセンター内)

V連絡会 E-mail vltr94@leto.eonet.ne.jp
Vセンター E-mail katabora1994@katano-shakyo.com

ボランティアを
紹介してほしい人
ボランティア活動を
はじめたい人
ボランティアセンター
にお問い合わせください
(☎ 894-3737)

ボランティアグループ出店（展）一覧

- 介護衣料展示（糸ぐるま）
- 対面朗読体験（あい）
- 団体共用室2
- おもちやづくり（玉手箱）
- 点字・点訳体験（虹の会）
- 福祉体験（高齢者疑似体験）
- 団体共用室1
- 運動療法室
- 福祉体験（高齢者疑似体験）
- 世代間交流センター3階（屋内）
- 手話「さつき」の合唱
- 手話付き合唱、社会福祉法人心生会
- ひまわり「車椅子ダンス」
- H A N D 「歌体操」
- 植木市
- バザーと古本市
- 糸ぐるま・手作り品バザー
- 屋外ステージ
- ふれあい広場（屋外）出店ブース

11月は児童虐待防止月間

子どもを虐待から守るために・・・

あなたの電話は、あなたのために、あの子のために

「虐待を受けたと思われる子どもを見つけたときには、ためらわずに子どもを虐待から救うための行動を起こすことが大切です。

「あなた」からの児童相談所や市町村への連絡が、子どもを守るための大きな一歩となります。

児童相談所全国共通ダイヤル
0570-064-000

(この電話はお住まいの地域の児童相談所につながります)



福祉体験（高齢者疑似体験）をしてみませんか

昨年の健康福祉フェスティバルで初めて採り入れました福祉体験（高齢者疑似体験）コーナーを、今年も館内3階の運動療法室で実施します。

身体の変化を知ることが高齢者や障がい者に配慮したやさしい気持ちを育みます。「歳をとりたくない」「目が見えないことは怖い」ということではなく、「自分だったらどうなんだろう」に対応されたらうれしくない「自分は何かできるか」を考える機会です。身体機能が低下するなどのような形で現われるのかを教材を使って体験します。

また当日、福祉体験をお手伝いいただける方はボランティアセンターまでお申し出ください。

健康福祉フェスティバル

みんな誘い合わせてご参加くださいね！

第27回健康福祉フェスティバルは11月11日（日）10時、ゆうゆうセンターの屋内・屋外で開催されます。ボランティアグループ連絡会からは3つの模擬店、福祉体験コーナー（高齢者疑似体験）や、所属グループの活動紹介など、私たちが日頃のボランティア活動を広く市民の方々に周知できる機会です。お住まいの近くの人たちにもお声をかけて一緒に参加しましょう。

ボランティア インタビュー68 庄田電子さん（ふれんズ）



ボランティア活動を始めたきっかけは

三年前に交野市に引越してきました。家庭が落ち着いた頃に、何か自分を活かせる活動、時間の有効活用ができる場があればと、ボランティアセンターの扉をたたきました。コーデイナーの方からセンターに登録されているボランティアグループの活動内容などを詳しく紹介していただき、ボランティアをやるうという気持ちが一層強くなりました。私の知人に障がい児を持った方がおられ、私自身が障がい児に少なからずの関心を持っていましたので即座に「ふれんズ」に入会をきめました。

自然体でボランティア

現在、ミルキーウェイさんで

昼食時のおみそ汁作りや片付け、皆とのおしゃべりなど、当事者の方々と一緒にしています。最初は「ふれんズ」のメンバーが同行してくれましたが、2回目からは一人で月2回の訪問をしています。ミルキーウェイの職員の方も大変よくくださいますし、当事者の方々もとても素直で、気持ちの優しい方々ばかりです。そんな中で自然体で接することの大切さを教わりました。

押し花にはまっています

以前はクラシックギターやトールペイントなどを楽しんでいましたが、今でもずっと20年以上続けているのは押し花です。交野は自然に恵まれ、四季折々の草花での作品づくりは、飽きる事がなくとても愉しんでいます。

楽しいボラ活動を

これからも楽しくボランティア活動が続けられるように、そしてもう少し活動時間を増やし、皆さんのお役に立てるように努力をしたいと思っています。

リーダー会議（10月23日）

☆連絡会より

- ・第27回健康福祉フェスティバル 11月11日に開催される健康福祉フェスティバル・ふれあい広場について、実施にあたって最終調整を行いました（1頁参照）。
- ・リーダー会終了後に「疑似体験」を行ない、本番に備えました。
- ・河北ブロック交流会について 9月25日、開催の河北ブロック交流会の報告、リーダーの協力にお礼を述べました。
- ・ボランティアセンター、秋の大掃除について（2頁参照）
- ・各グループの展示パネルについて 新たな素材で展示パネルを作成（2頁参照）

☆Vセンターから

- ・赤い羽根共同募金について センターでバッジとカードの販売を斡旋していますのでご利用ください

“お互いさん”の交野のまちづくり講座の案内「お出かけ介助術」について（2頁参照）

☆各グループから（省略）



父と台風

昭和20年代その

頃、雑音の多いラジオが情報源だった。父は雨風が強くなりだした外の様子を見ると、シャツとステテコ姿になって縁の下から幅30センチ位の長い板を取り出す。その板を家の窓や玄関戸に、ずぶぬれになって釘で打ち付けていく。そのため、次第に薄暗さを増す家の中にいる子供だった私は何かが始まる予感で胸がワクワクしていた。

雨漏りがしだすと家中にあるタライや洗面器、鍋まで使って天井から落ちてくる雨滴を受けた。停電！ ロウソクの灯を円い卓袱台の上に置く。ラジオの音も消え、時々揺れる家の中で雨風の音だけを聞きながら夜を過ごす。恐い中にも父がいることで気持ちは安らいだ。

次の朝、父は屋根上で破損箇所の修理をしていた。父が生きていたら108才になる。（ライム）

